

児童に関わる指導者等資質向上 中堅研修

対象：保育所、こども園、幼稚園、学校の教員においては、勤務歴10年以上の方。
児童館、学童、施設関係者においては勤務歴5年以上の方。

会場：兵庫県立こどもの館 多目的ホール
定員：各60名

回	日程	研究主題	講師
1	8月21日 (金)	10:00 ~ 11:30 【人との関わりに関する領域：人間関係】 「乳幼児期のこどもの発達と コミュニケーションがおよぼす影響」	一般社団法人 兵庫県カウンセリング協会 山田 久和 氏
	内容	乳幼児期は、認知・情緒・社会性が大きく伸びる重要な時期です。発達心理学や愛着理論をもとに、指導者・支援者との応答的な関わりや日々のコミュニケーションが、情緒の安定や言葉の発達、自己調整の育ちに、どのように影響するかを学び、現場で活かせる視点や支援のポイントについて考えます。 【準備物】筆記用具、講義資料、飲料	
2	8月21日 (金)	13:30 ~ 15:00 【心身の健康に関する領域：健康】 「『生きる力』を育む これからの食育の進め方」	たつの市立小宅小学校 校長 元文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課 食育調査官 清久 利和 氏
	内容	こどもの健康な成長を支える食育の大切さが様々なところで話題になっています。食育について、これまでの国の政策や今、求められている視点、指導・支援の方法など、現場での具体的な取組事例を交えながら学びます。そして、就学前からこどもたちの将来を見据えて、家庭・地域と連携した食育の進め方について考えていきます。 【準備物】筆記用具、講義資料、飲料	
3	8月27日 (木)	13:30 ~ 15:00 【人との関わりに関する領域：人間関係】 「こどもを尊重し、育ちを支えるために —『バイスティックの7原則』で広げる 『関わりの引き出し』と信頼関係の築き方—」	関西学院短期大学 専任講師 小山 顕 氏
	内容	こどもの育ちを支える土台となる、こども・保護者との信頼形成を学びます。「バイスティックの7原則」を軸に、個別的な状況に応じた関わり方や自身の感情制御を整理します。現場で活かせる対人援助の視点を磨き、実践力の向上を目指します。 【準備物】筆記用具、講義資料、飲料	

※ 受講形式はすべて対面のみとなっております。

※ 講義資料は講座1週間前にメールでお送りします。各自印刷をして、当日ご持参ください。